

P-C-3

アトピー性皮膚炎に対するカテキンタブレット服用効果 - 第一報

Oral green tea catechin`s effects on atopic dermatitis

野崎 豊¹⁾, 野崎 高史¹⁾, 大久保 勉²⁾, 位田 毅彦²⁾, 杉浦 和彦²⁾

1) ノザキクリニック, 2) 太陽化学株式会社 研究推進室

Recently, atopic dermatitis has been increasing in Japan and also there is not known effective treatment without steroid treatment. The green tea catechin rich tablets were prescribed orally for 1 month (green tea catechin of 1200mg/day) on 5 patients of atopic dermatitis. Effect on atopic dermatitis was investigated. In clinical improved cases (4 persons), results showed to improve the blood allergic indices such as eosinocyte counts and IgE, and also improve urinary active oxygen product`s reaction. On the contrary, one aggravated case showed to grow worse blood eosinocyte counts, IgE, NK cell proportion and urinary active oxygen product reaction. The clinical improvement had good correlation with the improvement of allergic blood signs such as eosinocytes counts and IgE levels.

【目的】

近年日本ではアトピー性皮膚炎の増加問題が深刻化してきている。しかし、現状では効果のあるものがステロイドなど副作用の深刻なものしかない。今回カテキンタブレット（太陽化学社製：1錠につき茶カテキンにして100mg）を摂取してもらいその効果を分析した。

【方法】

カテキンタブレットを当院にて初診のアトピー性皮膚炎15名に同意を得た上、一ヶ月、一日12錠（茶カテキン1200mg）を服用してもらい、臨床症状を分析した。又、同意の得られた5名に於いて飲用前と後で一般検査として血中にて総蛋白、アルブミン、BUNおよび肝臓機能を、メタボリックな指標として脂質、糖、尿酸を、アレルギー指標としてIgE、好酸球数を、疲労指標として乳酸を測り、抗酸化指標として血中SOD及び尿中活性酸素を調べ効果を分析した。

【結果】

アトピー性皮膚炎15名中、臨床症状では改善例が8名。一例は8年来のアトピー性皮膚炎が完治した。不変が3名、悪化が3名であった。同意が得られ血液検査が行われた5名では臨床症状の改善4例、不変0、悪化1例であった。血中総蛋白、アルブミン、BUNおよび肝臓機能、脂質、糖、尿酸、乳酸、SODは全例が前後とも正常範囲であった。飲用前では4例にIgEの異常高値、3例に好酸球数の異常高値、全例に尿中活性酸素反応の異常高値を認めた。飲用後では、臨床症状改善例（4名）では、血中脂質は正常値内変動ではあるが全例に総コレステロール、中性脂肪値の低下を見た。飲用前に異常IgE値を示した3名、異常好酸球数値を示した2名全例で飲用後の改善を見た。尿中活性酸素反応の悪化はなく1例に改善を見た。他方、悪化した1例では、飲用後、尿中活性酸素反応、血中異常IgE値、異常好酸球数値、NK細胞比率の異常低値が更なる悪化を示した。

【結論】

緑茶から作成したカテキンタブレット投与で半数以上のアトピー性皮膚炎に臨床効果を認めた。血液検査を実施した5例中、効果を認めた4例では全例でIgE、好酸球数の改善を認め、悪化を認めた例ではこれら指標の悪化を認めた。茶カテキンによる臨床効果が血中アレルギー指標効果と正の相関を示した。この成績は当効果がアレルギー発症過程に関与している可能性を示唆するものと考えられた。